

平成 26 年 3 月 3 日

各 位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 浦田 泰生  
(コード番号：4588)  
問 合 せ 先 管理担当取締役 六反田 靖  
兼 経 理 部 長  
(TEL. 03-5472-1578)

## 鹿児島大学との共同研究契約締結のお知らせ

当社は、国立大学法人鹿児島大学と共同研究契約を本日締結しましたのでお知らせします。本契約は、当社と馬場昌範教授（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 附属難治ウイルス病態制御研究センター 抗ウイルス化学療法研究分野）の研究グループの、新規ウイルス感染症治療薬に関する包括的な共同研究契約です。

当社は、重傷感染症領域に注力しており、これまでに馬場教授の研究グループとC型肝炎ウイルス感染症治療薬候補化合物（AI-001）及びヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染症治療薬候補化合物（AI-002）の開発を進めてきました。今回これらに加えて、新たにB型肝炎ウイルス（HBV）感染症治療薬に関する新規化合物を創出します。馬場教授の研究グループがリード化合物を創出し、当社が合成展開によるリード化合物最適化ののち開発に着手する予定です。

HBV感染症に対しては、現在、核酸アナログ製剤及びインターフェロンによる治療が主流となっています。これらの治療により一過的にウイルスの生産を抑えることができますが、長期間にわたる服用が必要であることや、腎毒性やうつ症状等の重篤な副作用の問題もあり、現状ではいずれの治療方法でも十分な治療ができません。

また、HBV感染者はアジア地域に多く、日本では約140万人の感染者がいると推定されています。HBV感染症は慢性肝炎・肝硬変を経て肝臓癌へ進行するため、有効かつ安全な治療薬の開発が求められています。当社は、HBV感染症の新規治療薬を開発することで、十分な治療法が確立されていない肝臓癌の発生抑制にも貢献できるものと考えています。

馬場教授は、平成 25 年に国際抗ウイルス学会（ISAR: International Society for Antiviral Research）で、毎年 1 名に授与される同学会賞の「エリオン賞」を東洋人で初めて受賞するなど、ウイルス感染症に対する治療法の研究は世界的にも高く評価されています。今回の共同研究により、ウイルス感染症領域における馬場教授の高度な研究力と当社の抗ウイルス薬開発実績を総合し、新規なウイルス感染症治療薬の開発を推進していきます。

なお、本件による本年度業績への影響はありません。

以 上